

豊田工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	環境都市CAD演習
科目基礎情報					
科目番号	94027	科目区分	専門 / 選択		
授業形態	演習	単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	建設工学専攻A	対象学年	専1		
開設期	前期	週時間数	前期:4		
教科書/教材	特に指定しない。 / プリント配布, 適宜資料等を閲覧				
担当教員	野田 宏治				
到達目標					
(ア) AutoCADで効率的に作図するための方法を理解し, 見やすいレイアウト設定が行うことができる。 (イ) AutoCADの機能を生かした効率的な操作を行なうことができる。 (ウ) 礎的な建設構造物の一般図, 配筋図をAutoCADで作図(2D)することができる。 (エ) AutoCADの機能を生かした効率的な操作を行なうことができる。 (オ) CAD利用技術者試験2級程度の技術と知識を身につける。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安(可)	未到達レベルの目安		
評価項目(ア)	AutoCADで効率的に作図するためのより高度な方法を理解し, 見やすいレイアウト設定が行うことができ、説明できる。	AutoCADで効率的に作図するための方法を理解し, 見やすいレイアウト設定が行うことができる。	AutoCADで効率的に作図するための方法を理解し, 見やすいレイアウト設定が行うことができない。		
評価項目(イ)	AutoCADの機能を生かしたより高度な効率的な操作を行なうことができ、説明できる。	AutoCADの機能を生かした効率的な操作を行なうことができる。	AutoCADの機能を生かした効率的な操作を行なうことができない。		
評価項目(ウ)	礎的な建設構造物の一般図, 配筋図をAutoCADで作図(2D)することができる。	礎的な建設構造物の一般図, 配筋図をAutoCADで作図(2D)することができる。	礎的な建設構造物の一般図, 配筋図をAutoCADで作図(2D)することができない。		
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達目標 B1 数学、自然科学および情報工学の基礎理論に裏打ちされた知識や技術を体系的に修得する。 JABEE c 数学及び自然科学に関する知識とそれらを用いる能力 本校教育目標 ① ものづくり能力 本校教育目標 ② 基礎学力					
教育方法等					
概要	従来は紙で交換されていた製図を電子化することが一般的となり、ネットワークを活用した情報の共有・有効活用を図ることが求められるようになった。手書きの製図からコンピュータを利用した製図の修得が不可欠となり、2次元CADであるAutoCADの基本操作方法を習得し、CALS仕様による図面の作成を目標とする。設計書を理解し、図面の作成を行う。本科で学んだ基本的操作の確認の後、建設系構造物の一般図、簡単な配筋図、道路平面線形の基礎的2D図面作成を行う。作図対象構造物の詳細設計は他講義に譲るものとし、本演習では既与された寸法、設計断面を扱う。				
授業の進め方・方法					
注意点	高専本科でのコンピュータ製図, 設計製図I, 設計製図II, 設計製図IIIの履修を前提とする。				
選択必修の種別・旧カリ科目名					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス、2D-CADの基本的な操作方法の復習	基本的なCADの操作方法を理解する。	
		2週	ガイダンス、2D-CADの基本的な操作方法の復習	レイヤー構造を理解する。	
		3週	作図演習1: 建物平面図の作図の作成	見本に従い、各図の配置を考慮しトレースができる。	
		4週	作図演習1: 建物平面図の作図の作成	見本に従い、CADを操作し配置バランスがよいトレースができる。	
		5週	作図演習2: 道路平面図の作成	見本に従い、CADを操作し配置バランスがよいトレースができる。	
		6週	作図演習2: 道路平面図の作成	見本に従い、CADを操作し配置バランスがよいトレースができる。	
		7週	作図演習2: 道路平面図の作成	見本に従い、CADを操作し配置バランスがよいトレースができる。	
		8週	作図演習3: 擁壁の作図	外形線の作図操作を理解する。	
	2ndQ	9週	作図演習3: 擁壁の作図	外形線の作図操作を理解する。	
		10週	作図演習3: 擁壁の作図	配筋図の作図操作を理解する。	
		11週	作図演習3: 擁壁の作図	配筋図の作図操作を理解する。	
		12週	作図演習3: 擁壁の作図	総合的な作図操作を理解する。	
		13週	作図演習3: 擁壁の作図	総合的な作図操作を理解する。	
		14週	CAD利用技術者試験問題による演習と解説	CAD操作、CAD思考の修得確認のため、試験問題により操作確認を理解する。	
		15週	CAD利用技術者試験問題による演習と解説	CAD操作、CAD思考の修得確認のため、試験問題により操作確認を理解する。	
		16週			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		小テスト	課題	合計	
総合評価割合		20	80	100	

專門的能力	20	80	100
-------	----	----	-----